

一年中桜に出会える町 300品種、1万本の桜を目指して!



一年中桜に出会える町よりい実行委員会（大久保和勇代表）では、1月22日に折原地内で桜の植栽を行いました。

同委員会は、町内に桜を「300品種、1万本を植える」ことを目的に平成24年に設立。これまでに約110品種、約3,000本の植樹を行ってきました。

当日は、会員と地元の方々を中心となり、折原小学校の児童も参加し、日本さくらの会から寄贈された「陽光」を110本植樹し、子どもたちはそれぞれが名前と将来の夢を記した木製プレートを設置しました。

同委員会は桜の名所の復活を目指し、精力的に活動されています。また、さくらマップを作製し、町内外に向け「桜の町・寄居」をアピールし、寄居町の観光振興に貢献されています。

寄居町で交通死亡事故ゼロ 2年間達成!



2月7日に埼玉県から寄居町へ表彰状が贈呈されました。

これは、町で平成23年8月10日以降に交通死亡事故の発生がなく、交通死亡事故ゼロを2年間達成したことによるもので、これまでの交通関係団体の取り組みや皆さんの交通安全に対する関心の高さが実を結び、このたびの表彰に至りました。

今後も町民が一体となり、交通事故を防いで安心な暮らしができるよう、交通ルールを守り、交通マナーの実践に努め、交通安全を心掛けていきましょう。

柔道で世界へ羽ばたく 新井さんが町長と対談



昨年11月に開催された柔道グランドスラム東京2013女子70kg級で優勝し、国内にとどまらず世界へ活躍の場を広げた新井千鶴さん（男衾中出身）と島田町長が、1月23日に三井住友海上世田谷道場で対談を行いました。

当日、新井さんは大会で優勝したことを報告され、柔道の競技人生をスタートさせてから現在に至るまでの過程やその中で感じてきたこと、今後の抱負などについて話してくれました。対談は終始和やかな雰囲気で行われましたが、新井さんの話す言葉からは柔道に対する熱い思いが伝わってきました。

株式会社荻野園

埼玉県優良小売店として表彰されました!



株式会社荻野園（常木・荻野真仁代表取締役）が埼玉県優良小売店として表彰され、2月18日に知事公館で表彰式が行われました。

埼玉県優良小売店とは、魅力と個性あふれる店づくりなどを行っており、新商品の開発やボランティア活動、地域行事への協力など、地域社会活動に積極的に取り組む県内の中小小売店を県知事が表彰するものです。

株式会社荻野園は、町特産ハーブ「エキナセア」の新商品開発や販路開拓等に参画し、寄居城北高校家庭科部と協力して「エキナセア♥マドレーヌ」を商品化するなど、寄居町の活性化に積極的に取り組んでいることが評価されました。

荻野さんは「このような名誉ある表彰をしていただき大変うれしく思います。これからも仕事を通じ、地域のために頑張っていく所存です。皆様ありがとうございました」と話してくれました。



新井さんは「私は高校生最後の大会で全国制覇を果たすまで、周りの仲間に『絶対に全国制覇する』と言い続け、勝てない時期があっても諦めずに地道に練習に打ち込んでいました。日々の練習をコツコツと積み重ねてきたおかげで、今の私があると言えます。私の出身校の男衾小、男衾中をはじめとする寄居町の子どもたちにも夢中になれるものがあれば、途中で投げ出さずに、一生懸命頑張ってほしいです。また、これまでに、やめようかと思うほどつらいこともたくさんありましたが、自分自身が選んだ道で覚悟を決めて柔道に取り組んでいます。やるからには夢だったオリンピック出場を果たせるよう今後も頑張っていきたいです」と話してくれました。

島田町長は「悔しい思いをして悩みながらも一つのこと打ち込み、これまで鍛錬を続けてきた新井さんからは、柔道以外にも通じる心の強さを感じました。また、新井さんと柔道の切っても切れない強い結びつきを聞く中で、あふれ出てくる才能を感じました。これからは新井さんを目標に柔道に取り組む選手が出てくるでしょうし、新井さんでしたらオリンピック出場という夢をきっと実現できると信じています。世界の強豪選手と戦っていくためには、厳しい道をこれから先も歩いていかなければならないのですが、粘り強く頑張ってください。心から応援しています」と激励しました。

